



降神佛
街の賑

▲神仏降臨 街の賑(部分、豊橋市美術博物館蔵)



◀蒸気火輪船の図(大垣市教育委員会蔵)

瓦版展

2023
11.3 **金祝** — 12.10 **日**

【開館時間】 9:00～17:00(入館は16:30まで)
 【休館日】 毎週月曜日
 【入館料】 一般400円(320円)、小中高校生100円(80円)、
 市内在住の70歳以上100円(80円)

※()内は30名以上の団体料金・前売り料金、市内在住の70歳以上は団体のみ。
 ※前売券は購入した翌日から使用でき、当館のほか市役所じょうほうひろば・市民文化会館で販売しています。
 ※豊橋市内在住の70歳以上の方は身分証明書をご提示ください。
 ※ほの国こどもパスポートをお持ちの小中学生は無料です。
 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料です(マイリロIDが使用できます)。

豊橋市二川宿本陣資料館

〒441-3155 豊橋市二川町字中町65 TEL 0532-41-8580/FAX 0532-41-8940
 二川本陣 検索 <http://www.futagawa-honjin.jp/>



11.27
あいち県民日

瓦版展

KAWARABAN

瓦版は、江戸時代に発達した情報媒体です。街中で読みながら販売されたことから、読売とも称されました。火事・地震・津波・仇討・見世物奇談・外国船の来航・幕末の政変など、瓦版にはさまざまな出来事が記されました。速報性を重要視するメディアであり、その内容からは、江戸時代人のユーモアや批判精神がうかがえます。明治以降は、新聞の出現によって衰退し、やがて姿を消しました。

本展では、瓦版のほかに番付や引札など一枚刷りで各種時事的な事柄を取り扱ったものも、関連資料として合わせて展示します。

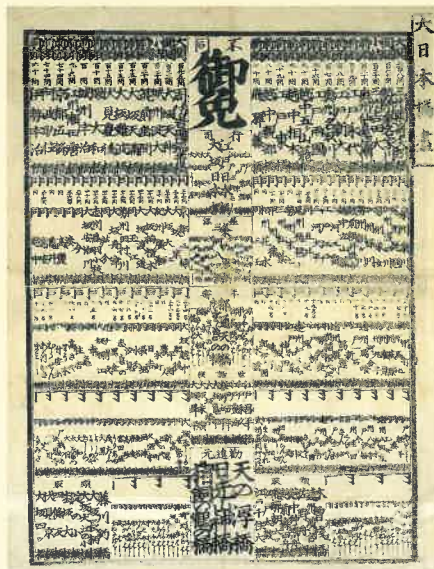
瓦版は、市井に暮らす人々が、実際に手に取って、ながめたものです。当時の「生の声」が聞こえる資料と言えるでしょう。各種瓦版を通じて、江戸時代の社会の様子について考えます。



▲神仏降臨 末代咄 初編(部分、豊橋市美術館蔵)



▲大坂安部之合戦の図(西尾市岩瀬文庫蔵)



▲大日本橋尽(豊橋市二川宿本陣資料館蔵)



▲駱駝(岐阜県歴史資料館蔵)

記念講演会

「瓦版はおもしろい」

日時◆11月12日(日)14:00

講師◆平野仁也さん
(東海学園大学准教授)

場所◆当館講義室

申込◆11月1日(水)

10:00から電話で申込み

定員◆30人 参加費◆入館料のみ

◆ギャラリートーク

日時◆11月4日(土)／12月3日(日)14:00

講師◆当館学芸員

場所◆当館企画展示室

参加費◆入館料のみ



JR東海道本線二川駅
北口より東へ1km

●豊橋総合動植物公園
●豊橋市自然史博物館

豊橋市二川宿本陣資料館

〒441-3155 豊橋市二川町字中町65 TEL 0532-41-8580/FAX 0532-41-8940

三川本陣 検索 <http://www.futagawa-honjin.jp/>

